【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【公開番号】特開2005-177484(P2005-177484A)
【公開日】平成17年7月7日(2005.7.7)
【年通号数】公開・登録公報2005-026
【出願番号】特願2004-363775(P2004-363775)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　6/03　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　6/03　３２１Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成21年11月9日(2009.11.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
伝送線路セグメント（３６、３８）を含むデータスリップリング（３４）と、
データ収集システム（２８）と、
前記伝送線路セグメント（３６、３８）と前記データ収集システム（２８）との間の直接電気接続部（３０）と、
を備え、
前記直接電気接続部（３０）は、前記データ収集システム（２８）の第１抵抗器を第１伝送線路セグメント（３６）に接続する第１電線（７６）と、前記データ収集システム（２８）の第２抵抗器を第２伝送線路セグメント（３８）に接続する第２電線（７８）とを含み、
前記第１及び第２抵抗器の抵抗がＺｏ１であり、前記第１及び第２伝送線路セグメント（３６、３８）の第１端部が前記第１及び第２電線（７６、７８）にそれぞれ接続され、前記第１及び第２伝送線路セグメント（３６、３８）の第２端部が抵抗Ｚｏ２の抵抗器に接続され、Ｚｏ１とＺｏ２／２の差が最小にされる画像再構成のためのシステム（１０）。
【請求項２】
前記直接電気接続部（３０）を形成するための制御インピーダンス電気ケーブル（３０）を備えることを特徴とする請求項１に記載のシステム（１０）。
【請求項３】
前記直接電気接続部（３０）を形成するための高速銅ケーブル（３０）を備えることを特徴とする請求項１に記載のシステム（１０）。
【請求項４】
前記高速銅ケーブル（３０）はデータをシリアルで送ることを特徴とする請求項３に記載のシステム（１０）。
【請求項５】
前記直接電気接続部（３０）は、アースに接続する第３電線（８０）を含むことを特徴とする請求項１に記載のシステム（１０）。
【請求項６】
（０．２）Ｚｏ１＜Ｚｏ２／２＜（５）Ｚｏ１であることを特徴とする請求項１に記載のシステム（１０）。

【請求項７】
Ｚｏ１が前記データ収集システム（２８）を前記直接電気接続部（３０）の電線（７６、７８）に接続する抵抗器両端の抵抗であり、Ｚｏ２が前記伝送線路セグメント（３６、３８）の端部間の抵抗であり、（０．２）Ｚｏ１＜Ｚｏ２／２＜（５）Ｚｏ１が真でないときに、前記システム（１０）が更に、前記伝送線路セグメント（３６、３８）と前記直接電気接続（３０）との間に接続された変圧器（８４）を備えることを特徴とする請求項１に記載のシステム（１０）。
【請求項８】
前記システム（１０）はコンピュータ断層撮影システムであることを特徴とする請求項１に記載のシステム（１０）。
【請求項９】
複数の伝送線路セグメント（３６、３８）を含むデータスリップリング（３４）と、
データ収集システム（２８）と、
変圧器（８４）と、
前記複数の伝送線路セグメント（３６、３８）と前記データ収集システム（２８）との間の直接電気接続部（３０）と、
を備え、
前記変圧器（８４）は、前記データ収集システム（２８）と前記伝送線路セグメント（３６、３８）との間に提供され、前記スリップリング（３４）と前記直接電気接続部（３０）との間のインピーダンス不整合を訂正し、
前記変圧器（８４）は、Ｚｏ１／（Ｚｏ２／２）の平方根に等しい巻き数比を有し、
ここでＺｏ１が、前記データ収集システム（２８）を前記直接電気接続部（３０）に接続する抵抗であり、Ｚｏ２が前記複数の伝送線路セグメント（３６、３８）の端部間の抵抗である、画像再構成のためのシステム（１０）。
【請求項１０】
伝送線路セグメントを有するデータスリップリングをデータ収集システムに接続する方法であって、
第１及び第２の伝送線路セグメントとデータ収集システムとの間に制御インピーダンス電気ケーブルを提供する段階と、
前記データ収集システム内の抵抗Ｚｏ１と、前記第１及び第２伝送線路セグメント（３６、３８）の端部間の抵抗Ｚｏ２の差を最小にする段階と、
を含む方法。